

高度経済成長期を支えた住宅地の カーボンニュートラルによる再生・災害に強いモデルを全国へ

(脱炭素先行地域：宮崎県延岡市一ヶ岡地区《5,223 人在住、高齢化率 40%》)

民生部門の電力削減の取組み

要件①-1(民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現する取組)

1 脱炭素先進エリア整備

市営住宅再編(A,B,C団地)による余剰地にテレワーク・シェアオフィス併設、ZEB条件事業所向け分譲地、公用車カーシェアやZEB子育て支援施設整備、EV充電スタンドなどを整備

2 脱炭素型での市営住宅再整備(PFI方式)

3 既存市営住宅等への太陽光発電設備・蓄電池導入

4 一ヶ岡下水処理場のカーボンニュートラル化

5 街灯・防犯灯、公共施設のLED100%化とRE100化

6 地域新電力会社設立(卒FITやRE100活用も検討)

再エネ+蓄電池+EMS整備により

災害時、大手電力会社の送電網が停電しても、再エネ網で早期に送電開始可能

⇒脱炭素と同時に災害対応力強化

7 再エネ・蓄電池費用やZEH・ZEB費用など国補助の協調補助

8 市民の「脱炭素行動」に確実につなげる地域通貨(のべおかCOIN)

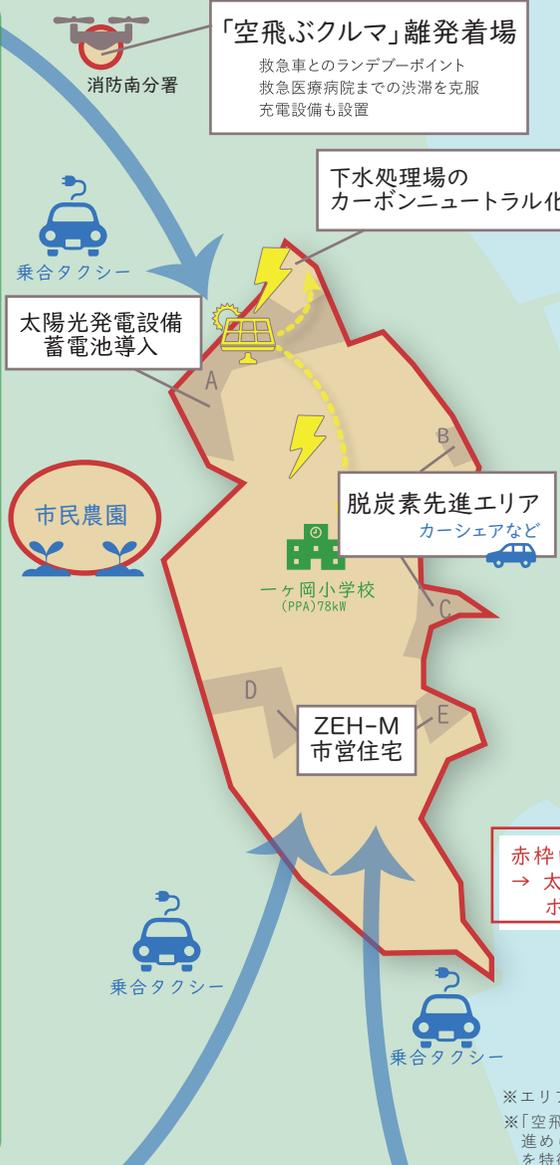
地域通貨”のべおかCOIN”(R3.8月にスタートした地域通貨)にCNポイント(カーボンニュートラルポイント)を追加

9 エアコン買い替えや断熱改修など脱炭素につながる消費への補助

10 GHG排出量の見える化

市民一丸となった取組み

⇒脱炭素の早期達成、市内類似団地、さらには全国への展開へ



民生部門の電力削減以外の取組み

要件①-2(地域特性に応じた温暖化対策の取組)

- ① 乗合タクシー(現在3路線)のEV車化
- ② 市民向けカーシェア +EV充電スタンド+シェアサイクル
- ③ EV車・FCV車費用の国補助の協調補助
- ④ 免許返納時に多くポイント付与で脱マイカー推進
- ⑤ エリア内循環EVモビリティ
- ⑥ 家庭用コンポスト補助拡大及び市民農園利用促進
- ⑦ 都市ガスのカーボンオフセット
- ⑧ 「空飛ぶクルマ」による救急救命率向上
- ⑨ 地元林産材での省エネ改修に対し補助



※エリア内の塗りつぶし範囲は市営団地敷地(A~E)
※「空飛ぶクルマ」とは、国内外で研究開発や法整備が進められている、主に「電動」「自動」「垂直離着陸」を特徴とした次世代モビリティシステム

プロジェクトを実現する基盤

=テクノロジーを受け入れる力があり、助け合い活動が盛んな一ヶ岡の「市民力」